

2019年10月5日～2019年10月11日

2019年10月16日

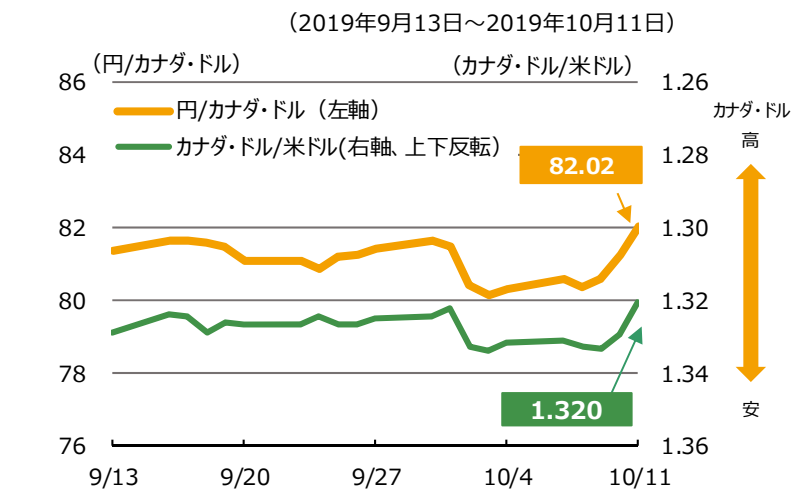
先週の回顧

カナダ・ドルは、対円で上昇しました。また、カナダ5年国債利回りも上昇しました。

カナダの金利は、週末に実施予定の米中通商協議で、米中が部分的合意に達するとの期待感から、投資家のリスク選好姿勢が強まったため上昇しました。カナダ・ドルは原油価格が上昇したことなどを背景に、対円で上昇しました。

経済指標では雇用統計が発表になっており、雇用者数が市場予想を大幅に上回る結果となりました。失業率や賃金上昇率も市場予想より良好な結果になりました。

カナダ・ドル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

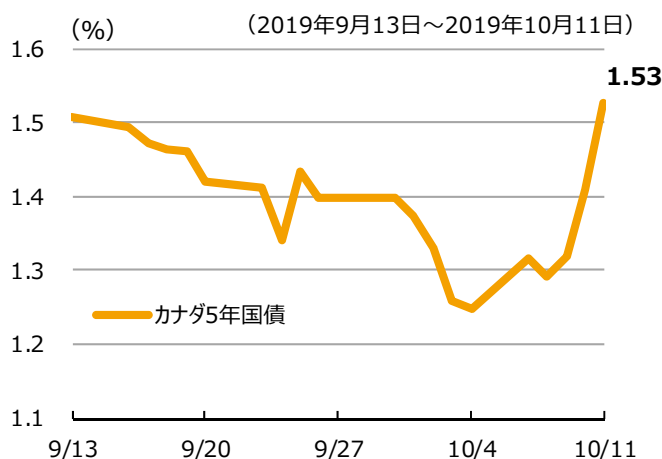
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

今週の見通し

今週、カナダではCPI（消費者物価指数）の発表が予定されております。米国では小売売上高やベージュブックの発表が予定されております。

足元では、米中貿易摩擦の一時休戦や英国とEU（欧州連合）の離脱合意が近いとの期待感からカナダの通貨、金利は上昇基調となっております。ただ、状況は流動的であるため、引き続き留意する必要があります。

カナダ 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。